

アザシチジン治療歴のある二次性急性骨髄性白血病の患者様に対するベネ トクラックス＋アザシチジン療法の予後調査についてのお願い

研究の概要・背景

近年、アザシチジンとベネトクラックス併用療法(**VEN/AZA 療法**)は、強力な化学療法が適応とならない急性骨髄性白血病の患者様に対する標準治療となった。しかしながら、先行する造血器腫瘍に対するアザシチジン前治療歴のある二次性急性骨髄性白血病の患者様への **VEN/AZA 療法**の効果については、まだ十分に明らかになっていない。

試料・情報の利用目的・方法（他機関への提供を含む）

急性骨髄性白血病に対するベネトクラックス併用療法が国内で認可された **2021** 年以降、当院で診断され **VEN/AZA 療法**が行われた急性骨髄性白血病の患者様の予後調査を行い、**VEN/AZA 療法**の効果に及ぼす因子、特に前治療としてのアザシチジン療法の有無が予後に及ぼす影響について、患者様の臨床的なデータを後方視的に解析し、日本血液学会学術集会や、学術雑誌への投稿にて、結果を発表する予定。

対象者・期間

2021 年 **3** 月以降に当院にて診断され、ベネトクラックス併用療法が行われた急性骨髄性白血病の患者様。

データ利用のお願いと申し出について

これらの臨床データは通常の診療で記録されたもので、患者さんに新たな負担はありません。また、個人を特定できるような状態でデータを使用することはありません。本研究の目的と、臨床データ利用に関するご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、本研究に関するさらなる説明をご希望の方、また、本研究において臨床データの利用を希望されない方は下記問い合わせ窓口にご連絡ください。研究不参加を申し出られたとしても、患者さんが不利益を受けることは一切ありません。

【お問い合わせ先】

長岡赤十字病院

担当医師： 黒羽高志

〒940-2085 新潟県長岡市千秋 2-297-1

電話：0258-28-3600(代)、FAX：0258-28-9000(代)